

【研究概要】

骨髄由来免疫抑制細胞(MDSC)は担がん病態下で増加する骨髄系の細胞群であり、抗がん免疫細胞を抑制することでがんの増悪化を促進することから、次世代がん免疫療法のターゲットとして期待されている。本研究では細胞の運命・機能決定に密接に関わっているエピジェネティックな制御に着目し、ヒストン脱アセチル化酵素 (histone deacetylase; HDAC)による MDSC の制御機構について研究を推進している。